

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970900092
法人名	有限会社 岸本グループ
事業所名	GH 宿毛の里
訪問調査日	平成 19年 10月 11日
評価確定日	平成 20年 3月 10日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3970900092		
法人名	有限会社 岸本グループ		
事業所名	GH 宿毛の里		
所在地 (電話番号)	宿毛市二ノ宮平井上1795		(電話)0880-62-0222
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	H.19.10.11	評価確定日	H.20.3.10

【情報提供票より】(19年 8月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤	10人, 非常勤 2人, 常勤換算 11人

(2) 建物概要

建物形態	<u>併設</u> / 単独	<u>新築</u> / 改築
建物構造	鉄筋平屋 造り	
	階建ての	階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円
敷金	有(円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(8月21日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名	
要介護1		名	要介護2	5	名	
要介護3	5	名	要介護4	8	名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	84歳	最低	69歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田村内科クリニック・本田歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

松田川沿いに連なる山々と自然あふれる田園地帯にあり、散歩にも適した場所である。管理者は常に利用者が自分らしい生活を続けることが出来るよう真剣に取り組まれ、職員も常に利用者と共に過ごし、会話の中に笑顔が見られ「ホッ」と出来る居場所になっている。今後、さらに自然に恵まれた良い環境のなかで利用者と職員の笑いの絶えない事業所になるよう期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で見出された課題は、職員会で内容を報告し、改善に向けて検討し取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員会で、外部評価の意義及びねらいについては話し合っているが、自己評価については代表者のみで行っており、今後は全員で自己評価を実施されたい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は昨年10月より開催され、行政、包括支援センター、地区民生委員、家族会会長等参加し記録も取っている。会議では事業所の報告が主であり前回の外部評価についても報告している。会議の開催については事業所の都合で遅れがちなので改善されたい。また、行政とは推進会議等で管理者の積極的な働きかけにより連携が出来るつつある。今後も様々な機を捕えて連携が更に発展していくことを期待する。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族には月1回、一人ひとりの様子やエピソード、写真を添えて伝えている。面会時にはその都度意見を聞いたり、意見箱を備えているが今まで苦情は出ていない。年に2回事業所の行事で家族が集まるが、意見を出す仕組みにはなっていない。意見が出しやすい仕組み作りとして、家族会を作ること等を今後期待する。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 事業所の立地条件から地域との交流の困難さは窺えるが、地域の一員として地域とつながりながら暮らし続けられるよう、地元の活動や地域の交流に取り組むことを期待する。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔運営者・管理者で検討し、再度全職員で検討した独自の理念を作っている。〕 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔 〕	○	地域密着型サービスの意義を全職員で確認され、地域生活の継続を支えるための理念の作成を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔第2火曜日カンファレンス会・緊急時職員会・各ユニット会で話し合わせ、意識づけしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔自分らしい生活が送れるよう、支援している職員の声かけや態度に現在の理念が反映されている。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔秋の芋掘りに保育園児が来たり、施設の行事に地元の婦人部が余興を披露してくれている。〕	○	町内会に参加するなど、地域の一員として地域とつながりながら暮らし続けられるよう、地元の活動や地域の交流に取り組むことを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合っているが、自己評価は代表者のみで行われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔外部評価の結果は、職員会で報告し改善に向けて取り組んでいる。〕	○	自己評価を全員で行うことにより課題を多角的に検討・共有し、更に質の向上を図る取り組みを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔行政・地域包括センター・地区民生委員・家族会会長が参加し主に事業所からの報告になっているが、双方向的な会議になるよう配慮している。また記録も取っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価で明らかになった課題は会議で報告し改善に向けて取り組んでいる。〕	○	事業所の都合により会議の開催が遅れているのは、管理者も認識されているが今後はおおむね2カ月に1回実施されたい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔事業所の実状は、運営推進会議で報告し管理者は行政職員に積極的に働きかけている。また、行政担当者と市内事業所との検討会があり、各事業所の現状や取り組みを話し合い検討するなど交流を図っている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の面会時は、利用者の状況をその都度伝えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔利用者の暮らしぶりについては、月1回金銭管理についての報告と一緒に、手紙や写真を添えて送っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔身体の変化については、その都度電話連絡をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔毎月1回使途を明らかにしたレシートのコピーと共に、金銭についての報告をしている。金銭出納帳にはサインもある。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔年2回事業所の行事の際に家族同士の集まりはあるが、集まりの場で意見を出せる仕組みにはなっていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	意見箱をおいたり、家族に聞き取りをしているが、今まで家族からの苦情はない。家族等の意見が出やすい仕組みとして、家族会を作るなどの働きかけを今後期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔職員の異動は過去1名で、馴染みの職員で支援できる体制である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔利用者へのダメージを防ぐ配慮として、引き継ぎの期間を取っている。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔年間の研修計画はないが、全職員が参加できるように努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修内容は、職員会で報告し共有しているが、研修報告書を作成し職員が何時でも閲覧できる仕組みを検討されたい。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔 〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔本人や家族に、ホーム内を見学してもらっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔入居希望者には管理者が面接を行い、他の職員はホーム見学の時に面接している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 [昔話・食品の保存法・縫い物等教えてもらう場面がある。]		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [生活歴や日常の会話から、本人の希望の把握に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 [自分の意向を明確にされる利用者がいないので、家族の面会時や電話で情報を得るようにしている。]		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [介護計画作成時は、家族に状況を報告し希望を聞き、計画を作成している。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [月1回カンファレンス会を持ち、職員全員が意見交換を行っている。]		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [設定された期間より早め早めの対応を行っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 []		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 〔職員が定期的を送迎を行い、治療を受けながら生活できるよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔過去に2件、終末期にケアを提供しており、看護師の配置はないものの、可能な限り利用者及び家族のニーズに応えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔通院の送迎や自由な外泊を支援している。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔協力医療機関での受診が多いが、家族の希望により支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔受診結果はコピーし家族に送付している。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔看護師の配置はないものの、家族との話し合いや医師との連携のもと、可能な限り利用者及び家族のニーズに応えることを方針としている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔家族の意向を踏まえ、医師と連携を取りながら介護職で対応している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔言葉掛けや対応には十分気をつけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者の希望は出なくとも、日常生活で把握しているニーズに基づき買い物や散歩は支援している。〕 <input type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔 〕	○	利用者の重度化に伴い、職員体制や業務スケジュールに困難さが窺える。今後利用者の希望に沿った支援が出来るよう、体制を整備されることを期待する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔食事の準備・下膳など、利用者が出来ることは行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔食事介助しながら、職員も同じものを一緒に食べ、和やかな雰囲気を作っている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔生活歴、心身状況から、利用者の出来ることを大切にしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔利用者の適性に応じて食事の下ごしらえ等、場面作りをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔食事の下ごしらえ・片付け、洗濯干し・たたみ、掃除等楽しみや気晴らしの支援をしている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔近くへの散歩には出かけるが、馴染みの場所には行けてない。〕 <input type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車いすを利用して戸外へ行っているが、積極的に行える体制ではない。〕 <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔四季を通じて2回全員でドライブに出かけている。日常的な散歩や買い物支援が少ない。〕	○	職員のシフトの関係で外出支援が出来ていないとの事である。今後利用者に合わせた職員の体制を組み、外の空気にふれ、季節を感じる事ができる取り組みに期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔帰宅願望の方もいるが、声かけをしたり、職員が同行する等して対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔隣家は少し離れているが、事業所から声をかけお願いしており、何かあれば連絡を頂ける体制がある。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年1回事業所で消防署に声をかけて訓練は行っているが、地域住民の参加・協力は無い。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔避難場所・消火器の点検は行っているが、非常用食料、備品の準備が出来ていない。〕	○	定期的に避難訓練を行っているが、地域住民の協力を得た訓練は実施していない。近くにあまり住宅がない事もあるが、地域住民と一緒に訓練することが望まれる。また、非常用食料、備品を準備することを早急に検討されたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔時間毎の水分摂取量を把握し、夜間ペットボトルを置くなど対応出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔他施設の栄養士にボランティアで定期的にチェックしてもらっている。また、主治医の指示のもと、ミキサー食等の摂食支援を行っている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔利用者はほとんどの時間を居間で過ごし、その横に少し狭いがソファと畳の空間があり、楽しさを触発する物も置かれている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔居間に季節の花が飾られている。また事業所の周りも自然いっぱい、季節感あふれる環境にある。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔テレビや花・写真を飾ったり・ソファを置いたり、利用者によって工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔本人の意向を確認しながら居室作りに取り組んでいる。〕		